

Road to the Olympic games!

# オリンピックへの道

みち

## バドミントンその1

### バドミンントンの起源 (諸説あり)

1873年のある日、名前は忘れたが、イギリスの貴族の誰かが

バドミントン村にある屋敷でホームパーティーを開いていた。

ところが、突然雨が降り出し、激しい嵐になり、人々は、しばらく

家の中で雨宿りすることになった。しかし、嵐はおさまらない。

飲食も飽き、話も飽きてしまい、人々はだらだらしていた。

すると、たまたまその中にインド駐留から休暇帰国中の陸軍士官数名が

いて、インドのボンベイ州プーナ地方で昔から行われている、

「プーナ遊び」の話をし始めた。その説明のため、彼らは身近に

あったシャンパンの空びんからコルク(木の栓)を取り、その片側に

鳥の羽根を植えつけ、テニスのラケットを振って、テーブル越しに

前後に打ち合っせて見せた。人々はこの遊びをすごく気に入り、

時間を忘れるほど楽しんだという。というわけで、このスポーツの

名前を、その村の名前をとって「バドミントン」にした。



↑バドミントンっぽい  
遊びを楽しむ  
人たちの図。↓



### バドミンントンのシャトル

バドミントンに使われる羽根(「シャトル」といいます)は、なんの鳥の羽を使っているか知っていますか?

白いから白鳥?いいえ違います。ガチョウの羽を使っています。

使える部分が限られているので、一羽のガチョウから、シャトル2個分しかしか作れないといわれています。

とてもお金のかかるスポーツなんですね。

オリンピックで使われるシャトルは1個でなんと

**450円**

もします!しかもあたりどころが悪いと一撃で壊れたりする・・・

撃ち抜くぞ☆

